

本誌への投稿は圧倒的に消化器領域が多く、呼吸器を専門とする身には若干肩身が狭く感じられることもある。肺は骨性胸郭に囲まれ、大血管と連結しているなど、他領域と比較して内視鏡手術を行い難い要素があるとも思われる。しかし日本胸部外科学会の学術調査結果によれば 1997 年の本邦における肺癌手術のうち胸腔鏡下手術の占める割合は 7%であったが、2007 年には 46%へと急速に増加し、着実に日常臨床として定着している。

つい最近、米国の National Lung Screening Trial (NLST) の結果の要旨がプレスリリースされ、肺癌に対する CT 検診は従来の X 線検診と比較して 20%の死亡抑制効果があることが報告された。これは 55~74 歳の喫煙指数 600 を超える 5 万人規模の集団を無作為に CT 検診と X 線検診に割り付け、前向き比較試験を行ったものである。

CT の普及により、発見される肺癌が小型化していることは近年の傾向であり、このことが胸腔鏡下手術の大きな推進力となった。NLST の結果により肺癌の検診や診断にますます CT が用いられることが予想され、呼吸器領域の低侵襲手術の傾向は加速するであろう。低侵襲治療の多くは早期癌を対象としており、早期診断法の開発もわれわれと無縁ではない。また、近い将来は癌の質的な解析により、悪性度が低く、縮小手術が適する症例の選別も可能となろう。内視鏡外科の発展には術式自体の進歩のみならず、新しい診断法や基礎研究の発展によるところが大きいことを実感する次第である。

そもそも、治療のアウトカム評価の指標は生存率、安全性、治療後の QOL、コストに大別され、内視鏡手術に期待されるのは、従来の手術と同等の根治性（生存率）を保ちながら安全性と QOL に優れるという点であろう。本学会では 2004 年から消化器・一般外科領域の技術認定を開始した。合併症発生率は認定取得者で有意に低く、この制度が安全面でも有効に機能していると思われる。内視鏡外科のような高度医療の質を保証するのは、学会が主導する専門医制度とともに、研修、生涯教育であり、特に学会誌は生涯教育の根幹をなすものと考える。本誌への投稿論文のうち、「私の工夫」欄へのものが一定の割合を占め、興味深く拝読、審査している。工夫そのものは日々の努力の賜と理解しているが、残念ながら客観性、普遍性の点で、論文として収載の基準に満たないと判断せざるを得ないものも多い。どうかさらなる症例の集積や、より客観的な評価方法で工夫から Art へ、そして Science へと発展することを願う。

(池田徳彦)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 16 巻 第 1 号) 2011 年 2 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,940 円（本体 2,800 円＋税 5%）となります。

2011 年 年ぎめ予約購読料：17,160 円（税込）（配送料：医学書院負担）

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：北野正剛）

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F 一般社団法人学会支援機構内

☎ 03-5981-6011 (Fax 03-5981-6012/E-mail: jses@asas.or.jp) (担当：佐々木、小山)

<http://www.asas.or.jp/jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 4F, 5-3-13 Otsuka Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0012, Japan

©2011, Printed in Japan

発 売：株医学書院（代表：金原 優）（本誌担当：土田、田村、安部） <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044))

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

腹腔鏡下胆嚢摘出術時における肝外胆管・胆嚢管合流形態の画像診断

—DIC-CT と MRC の比較— …………… 岡本佳樹・他 香川大学医学部消化器外科
治癒切除不能 StageIV大腸癌に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の

比較検討 …………… 枝園和彦・他 国立病院機構四国がんセンター外科
子宮筋腫核出術におけるバゾプレッシン使用による

心拍機能変化の検討 …………… 保母つ子・他 山王病院リプロダクションセンター
肥満を有する婦人科腹腔鏡下手術患者における内臓脂肪 X 線 CT 計測の試み …………… 黒土升蔵 豊田厚生病院産婦人科
単孔式腹腔鏡胆嚢摘出術 46 例の経験 …………… 河合 徹・他 医療法人山下病院消化器外科

●症例報告

後腹膜巨大リンパ嚢腫に対して腹腔鏡下嚢腫壁部分切除による

開窓手術を施行した 1 例 …………… 錦見俊徳・他 名古屋赤十字第二病院泌尿器科
部分内臓逆位症に合併した胆嚢結石症に対し

腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した 1 例 …………… 宮本良一・他 国立病院機構水戸医療センター外科
異時性大腸癌に対する腹腔鏡補助下結腸切除術 …………… 丸田智章・他 新潟県立新発田病院外科
腹腔鏡下胆嚢摘出術施行中に発生した広範な皮下気腫および縦隔気腫の 1 例 …………… 長尾祐一・他 産業医科大学第 1 外科
単孔式内視鏡外科手術にて肝部分切除を施行した肝細胞癌の 1 例 …………… 七島篤志・他 長崎大学腫瘍外科
術中蛍光胆道造影にて副肝管を同定しえた腹腔鏡下胆嚢摘出術の 1 例 …………… 柴崎正幸・他 社会保険中央総合病院外科
腹腔鏡下脾動静脈温存脾温存脾尾側切除術を施行した脾尾部副脾

epidermoid cyst の 1 例 …………… 湯澤浩之・他 松波総合病院外科

●手術手技

腹腔鏡下食道切除術における縦隔左側の郭清と左迷走神経肺枝の

温存手技 …………… 竹村雅至・他 大阪市立総合医療センター消化器外科

他に数編。ただし頁の都合により変更があります。ご諒承下さい。